

各 位

東映アニメーション株式会社
 代表取締役社長 高木 勝裕
 (JASDAQコード番号: 4816)
 問い合わせ先 常務取締役 吉谷 敏
 電話番号 03-5318-0639

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月14日付「平成30年3月期 決算短信」にて発表いたしました、平成31年3月期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	20,000	4,600	4,800	3,300	80円63銭
今回修正(B)	24,800	6,500	6,800	4,600	112円40銭
増減額(B-A)	4,800	1,900	2,000	1,300	—
増減率	24.0%	41.3%	41.7%	39.4%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	23,444	5,962	6,281	4,291	104円85銭

(2) 通期(平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	40,000	9,000	9,300	6,300	153円94銭
今回修正(B)	48,000	12,000	12,300	8,500	207円69銭
増減額(B-A)	8,000	3,000	3,000	2,200	—
増減率	20.0%	33.3%	32.3%	34.9%	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	45,992	11,272	11,561	7,847	191円76銭

(注) 当社は、平成30年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正理由

本日発表の「平成31年3月期 第1四半期決算短信」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間は北米向け映像配信権の販売が好調に稼動したことに加え、国内外で「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が当初の見込みを上回って好調に推移しました。第2四半期連結会計期間も国内外でゲーム化権販売が引き続き好調に推移することが予想されることから、第2四半期連結累計期間につきましては、

前回予想より増収・増益となる見込みです。

通期につきましては、第2四半期連結会計期間以降も各種ゲーム化権販売が好調に推移する見通しから、上記の予想となる見込みです。

※上記の予想は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上